
多面的機能支払 メールマガジン
「農村ふるさと保全通信」 第 106 号(2021. 12. 14)

農林水産省農村振興局 多面的機能支払推進室



高めよう 地域協働の力!

多面的機能支払のメールマガジン「農村ふるさと保全通信」の第 106 号をお届けします。

今回の活動組織紹介では、畦畔に自生するノカンゾウを生かして啓発・普及活動などに熱心に取り組む組織と、県内外の学生を受け入れ田植え体験などを実施する組織について紹介します。また、女性役員が積極的に構成員とのコミュニケーションを取り、若い世代も含めて活動する組織のインタビューを紹介します。

事務局からは、「つなぐ棚田遺産オフィシャルサポーター制度」と「つなぐ棚田遺産～ふるさとの誇りを未来へ～(ポスト棚田百選)」の候補地募集についてのお知らせがあります。

---第 106 号の目次-----

1. 活動組織の紹介

☆斗賀野^{とがの}地区農村環境を守る会(高知県^{さかわちよう} 佐川町)☆

☆美浜町^{みはまちょう} 広域協定 大藪^{おおやぶ} 農村環境保全隊(福井県^{みはまちょう} 美浜町)☆

2. 女性役員へのインタビュー

☆大井^{おおいちく} 地区 環境保全会～(佐賀県^{しろいしちょう} 白石町)☆

3. 「つなぐ棚田遺産オフィシャルサポーター制度」&

「つなぐ棚田遺産～ふるさとの誇りを未来へ～(ポスト棚田百選)」の候補地募集中
(編集後記)

■ 1. 活動組織の活動紹介(1)～^{とがの}斗賀野地区農村環境を守る会(高知県^{さかわちょう}佐川町)～ ■

～ 地区概要 ～

本地区は、高知県中西部にある^{さかわちょう}佐川町の南部に位置しています。四方を山に囲まれた盆地地形となっており、稲作を中心に、ハウスでのニラ栽培や露地の生姜栽培が行われている地域です。

本活動組織は、^{とがの}斗賀野地区を基盤とした住民参加のまちづくりや地域振興を目指し活動する

「NPO 法人とかの元気村」の農業振興部会の活動の一環として平成30年度に発足し、現在は、田71.66 ha、畑0.17 ha、水路30.8km、農道5.5kmなどを対象に活動を行っています。

～ 主な取組 ～

基本的な取組である、農道、水路の草刈り、泥上げに加え、外来種であるスクミリンゴガイの駆除を行っています。これまでは貝や卵の除去を行うのみでしたが、今年は新たに石灰窒素散布や駆除剤を試すなど、より効果のある駆除方法を探っているところです。また昔から本地区の畦畔に自生し、地域住民から親しまれている野萱草(ノカンゾウ)の植栽を実施しています。構成員の内、協力して頂ける方の畦畔に少しずつ植栽を進め、現在では延べ180mほどの植栽延長になりました。7月の花見の時期には、畦畔に300本程咲くノカンゾウを地域住民等に鑑賞してもらう事で、景観形成活動を通じて啓発・普及活動にも熱心に取り組んでいます。

本地区は、中山間地域等直接支払制度にも取り組んでおり、それぞれの事務を集落活動センター※で一括して行うことで、地域連携を向上させています。今後も世代を越え、地域住民が一丸となって助け合い、美しい田園風景を継承していけるよう、取り組んでいきます。

※集落活動センター：地域住民が主体となって、地域外からの人材も受け入れながら、旧小学校や集会所等を拠点に、それぞれの地域の課題やニーズに応じて様々な活動を総合的に取り組む仕組みで、高知県に62箇所(R3.4時点)開所。



スクミリンゴガイの駆除



ノカンゾウ苗の植栽



ノカンゾウの鑑賞



集落活動センターで役員会を開催

【高知県農業振興部農業政策課】

■ 1. 活動組織の活動紹介 (2)

～^{みはまちょう}美浜町 広域協定 ^{おおやぶ}大藪 農村環境保全隊 (福井県 ^{みはまちょう}美浜町)～■

～ 地区概要 ～

私たちの地区は、^{みかたごこ}三方五湖の一つである^{くぐしこ}久々子湖等の風光明媚な自然環境に恵まれた農村集落です。平成27年度から広域活動組織である^{みはまちょう}美浜町 広域協定に参加し、農用地 19.77ha、水路 3.5km、農道 4.0km の地域資源の保全に取り組んでいます。

～ 主な取組 ～

私たちの地域では、地域住民や各種団体が活動に積極的に参加し、水路、農道等の保全、シバザクラや彼岸花等の植栽に取り組んでいます。

なかでも、県内外の学生を受け入れ、伝統的農法による田植え体験や、集落内の子どもたちによる生き物調査と環境学習会は、地域コミュニティの強化に繋がっています。

これからも、地域の財産である子や孫を大切にしながら、農地や水路・農道等の地域資源を良好な状態で次世代に継承するとともに、農業後継者の育成にも引き続き取り組みたいと考えています。



水路での生きもの調査



調査結果の発表(環境学習会)



県外の中학생との田植え体験



婦人会が中心となった植栽活動

^{おおやぶ}【大藪 農村環境保全隊 浅妻孝彦】

■2. 女性役員へのインタビュー ～^{おおいちく}大井地区環境保全会～(佐賀県^{しろいしちよう}白石町)■

組織の概要

活動範囲：田 60.11 ha、畑 0.22ha
対象施設：水路 6.0km 農道 4.1km
活動開始時期：平成 26 年～



^{おおいちく}大井地区環境保全会のみなさん

～ インタビュー ～

○話し手

島ノ江 廣利(代表)他 10名(内8名女性)

○聞き手

県職員 3名、協議会職員 2名、町職員 3名

○実施日時：7月12日 場所：大井地区公民館

Q：役員に女性が就いたきっかけを教えてください。

A：当地区には非農家が多く、女性も役員に入れないと、今後も地域を守っていけないと思いました。そのような中、会計の3名は元銀行員の女性だったため、適任でした。役員になると活動に責任が出てきて、活動に参加して頂けることが多いです。

Q：役員を引き受ける際に抵抗はありましたか？

A：初めはサポートで入るので、そこまで抵抗はなかったです。



Q：組織を運営する中で苦労したことを教えてください。

A：重労働作業などは、自分で作業が出来ないため作業の仕方に気になることがあっても、なかなか作業内容に口を出せません。そこが組織の運営上苦労している点です。

Q：役員として心がけている事を教え下さい。

A：みんなに参加してもらえるように、和気あいあいとした雰囲気や日頃はなさないような人とも話すようにして、笑いも出るような活動を心がけています。活動に出られないときは出なくてもいい、参加したいときに参加してもらって周りの人と声掛けを行う

ことによって、悪いなという気持ちが和らぐように、と考えています。

Q：構成員との関わり方を教えてください。

A：女性は組織の潤滑油です。役員として心がけている事と同じように、積極的に構成員とコミュニケーションを取ることが一番の役割です。

Q：特に力を入れて取り組んでいる活動内容はありますか？

A：花壇への植栽、管理などに特に力を入れています。

Q：活動を行ってよかったことを教えてください。

A：高齢者から若年層までみんな関係性を持っていることです。20代男性も参加していただけており、それが大変良かったなと思っています。



植栽の様子

Q：今後の展望や目標を教えてください。

A：遊休農地などを利用して、景観作物などを作りたいと考えています。

Q：多面的機能支払交付金に取り組んで思う事は？

A：以前は、女性が地域の皆様と話す機会が少なかったため、多面的機能支払交付金の活動の初めは参加者の名前と顔が一致しませんでした。しかし、活動に参加する中で地域全員の名前を覚え、活動以外でも話す機会が増えました。それが一番よかったと感じています。

おおいちく
【大井地区環境保全会】

■ 3. 「つなぐ棚田遺産オフィシャルサポーター制度」& 「つなぐ棚田遺産～ふるさとの誇りを未来へ～(ポスト棚田百選)」の候補地募集中！■

○「つなぐ棚田遺産オフィシャルサポーター制度」の創設

「つなぐ棚田遺産～ふるさとの誇りを未来へ～」の取組や棚田地域を振興するための取組について、企業や団体などとともに応援するため、「つなぐ棚田遺産オフィシャルサポーター制度」を創設しました。

サポーターとして活動する企業や団体などは、例えば、HP や各種イベントで「つなぐ棚田遺産」の周知、棚田地域における保全活動への参加、棚田の農産物を活用した商品の開発など棚田地域の振興に資する取組を実施するものとしています。サポーターに認定されると、統一したロゴマークの使用や農水HPにて取組を掲載することが可能となります。多くの企業や団体の皆様からの申請をお待ちしています。

▽サポーター募集期間及び選定方法▽

- ・ 募集期間：令和3年11月15日（月）から令和4年9月30日（金）まで
- ・ 申請方法：ホームページに掲載の申請書に必要事項を記入しメールで提出

https://www.maff.go.jp/j/nousin/tanada/tanada_supporter.html

○「つなぐ棚田遺産～ふるさとの誇りを未来へ～」の候補地募集中

農林水産省では、棚田地域の振興に関する取組を積極的に評価し、棚田地域の活性化や棚田の有する多面的な機能に対する、国民の皆さまのより一層のご理解とご協力をいただくことを目的として、優良な棚田を改めて認定する取組「つなぐ棚田遺産～ふるさとの誇りを未来へ～」を実施します。「つなぐ棚田遺産」に認定された棚田は、農林水産大臣からの認定証を授与するとともに、農林水産省ホームページにおいて公表します。

▽候補地募集期間及び選定方法▽

- ・ 募集期間：令和3年11月15日（月）から12月15日（水）まで
- ・ 選定方法：市町村が関係者の協力を得て棚田を推薦し、都道府県が推薦書に所見を付して選定委員会に提出します。そして、選定委員会が選定基準により選定します。推薦を希望される棚田があれば、お近くの市町村棚田担当者へお問合せください。

▽「つなぐ棚田遺産」に関する詳細事項▽

候補地の募集やオフィシャルサポーター制度など、つなぐ棚田遺産に関する事項については以下のページにてご確認ください。

<https://www.maff.go.jp/j/nousin/tanada/tanadasen.html>

選ばれし棚田は美しい。

農林水産省は、
ポスト棚田百選の取組として
『つなぐ棚田遺産
～ふるさとの誇りを未来へ～』
の推薦を募集しています。
あなたの誇りの素敵な棚田を
推薦してください。

募集期間：
令和3年11月15日
～12月15日

詳しくはこちら▶



つなぐ棚田遺産

～ふるさとの誇りを未来へ～

農林水産省

オフィシャルサポーターの募集について
詳しくはこちら▶



問合せ先

農林水産省 農村振興局 農村振興部 地域振興課
〒100-8960 東京都千代田区豊洲1-2-1 電話：03-5716-8031

主催：農林水産省 後援：内閣府、総務省、文化庁、国土交通省、観光庁、環境省

【農林水産省 地域振興課】

■ 編集後記 ■

読者のみなさま、こんにちは。

いつも本メールマガジンを読んで頂き、ありがとうございます。前回の配信から時間があいてしまい申し訳ありません。だんだんと寒くなってきましたので、みなさま、どうぞご自愛ください。それでは、また次号もお楽しみに！

(え)

◇多面的機能支払メールマガジン「農村ふるさと保全通信」バックナンバー◇

https://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/tamen_siharai/nouson_furusato_hozen/index.html

バックナンバーはこちらからのQRコードからでもご覧いただけます！→



◇「多面的機能支払交付金のロゴマーク」◇

ロゴマークは以下のサイトからご利用になれます。

活動内容の紹介や広報の発信などに、どんどんご活用ください！！

https://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/attach/pdf/tamen_siharai-31.pdf



◇配信先メールアドレスの変更・配信解除等◇

メールアドレス等の変更やメールマガジンの配信解除等は以下のサイトから。

<https://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/>

手続きにはパスワードが必要です。

お忘れの場合は、以下のサイトでパスワードを再発行して下さい。

<https://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/re.html>

◇ご意見・ご感想等◇

メールマガジンに関するご意見・ご感想や取り上げて欲しいテーマ、ご自身の所属する活動組織の紹介文（300字程度）等に関するメールをお待ちしております！！

tamen_ml@maff.go.jp

【発行】

〒100-8950 東京都千代田区霞が関1-2-1

農林水産省農村振興局整備部農地資源課

多面的機能支払推進室（担当：藤原、小貫）

TEL：03-3502-8111（内線5493）